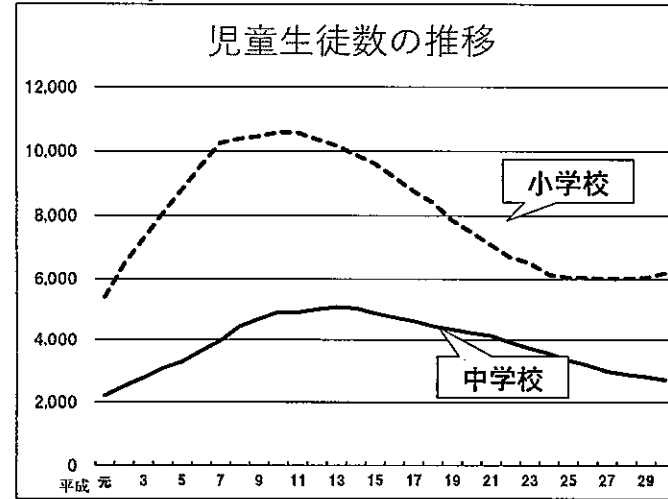


# 三田市立学校再編計画 【第1次計画】 説明会（長坂・藍）

三田市教育委員会

1

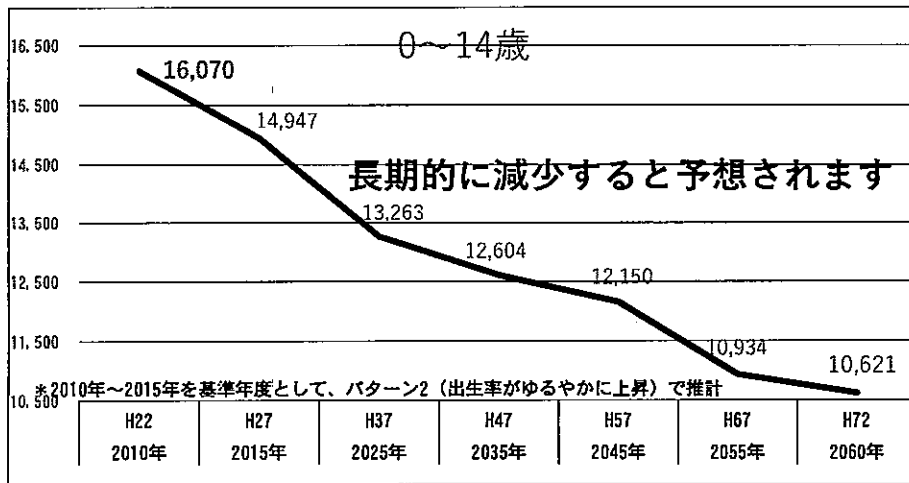
## I 再編計画策定の背景 ～三田市立小中学校の現状と課題～



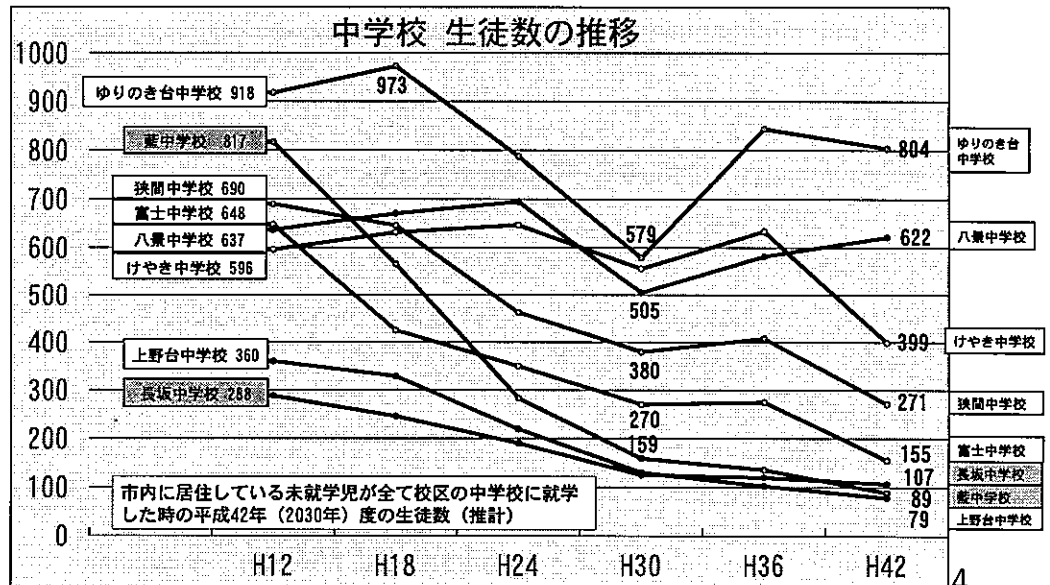
平成10年度の小中学校合計15,515人をピークに年々児童生徒数が減少しています。

2

「三田市人口ビジョン(H28.3)」～三田市の将来人口推計より抜粋～



3



4

## 子どもたちを取り巻く環境の変化

- ・グローバル化や情報通信技術の進展
- ・社会情勢の急激な変化

第2期教育振興基本計画（H29～33）

### 柔軟かつたくましく対応できる人物の育成

子どもたちがこれからの社会をたくましく生き抜くために

### 3つの基本的な基軸

自	協	創
立	働	造

生涯にわたって能動的に  
学び続けていく必要

5

## II 学校再編計画策定までの経緯

学校の小規模化が進む中、子どもたちにとって「望ましい教育環境」を実現するための方策等について、「三田市立学校園のあり方審議会」で検討。

H30年3月「三田市立学校園のあり方審議会」答申

7月「三田市立学校のあり方に関する基本方針」策定



12月「三田市立学校再編計画【第1次計画】」策定

7

## 次期学習指導要領（小学校H32～、中学校H33～）

子どもたちに身につけさせたい資質・能力

3  
つ  
の  
柱

何を知っているか、何ができるか  
（個別の知識・技能）

知っていること・できることをどう使うか  
（思考力・判断力・表現力等）

どのように社会・世界と関わり、よりよい  
人生を送るか（学びに向かう力・人間性）

これからの複雑で  
変化の激しい社会  
の中で必要な力

さまざまな情報  
や出来事を受け  
止める力

他者と一緒に生  
き、課題を解決し  
ていくための力

主体的に判断しながら、自分を社会  
の中でどのように位置づけ社会をど  
う活かすかを考える力

こうした資質・能力の育成に向け「主体的・対話的で深い学び」を  
視点に、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、生きる力  
を育むことを求めています。

6

## III 再編計画の目的

次期学習指導要領および三田市教育振興基本計画の理念  
に基づき、次のような教育を推進します。

- ①様々な課題に対して柔軟かつたくましく対応する力を育成  
します。
- ②様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断する力を育成  
します。
- ③自分の良さや可能性を認識し、他者を尊重する態度を育成  
します。

8

- ④「学び合い、高め合える」環境を確保し、社会性を育成します。
- ⑤「主体的・対話的で深い学び」を視점에特色ある教育を展開します。
- ⑥学校行事や部活動等の活性化に努めます。
- ⑦免許外教科指導を解消し、より専門性の高い学習指導を推進します。



一定の学校規模を確保し、教育環境の充実を図ることで、より望ましい教育を進めることができます。

9

### <中学校> 望ましい学校規模を確保することでのメリット

- ①すべての学年でクラス替えができる。
  - >多様な出会いを保障し、豊かな人間関係をつくりやすい。
  - >人間関係の固定化を避けることができる。
  - >人間関係に課題が生じた場合に、クラス替えによって対応することが可能である。



集団生活を通して生じる様々な課題について対応する手段の1つとして、クラス替えは有効です。

11

## IV 学校再編をするにあたって

### 1 望ましい学校規模とその理由（基本方針より）

望ましい学校規模（学級数）については、三田市の小・中学校の現状と将来的な児童生徒数の推移及び小規模校・大規模校のメリット・デメリット等を総合的に考慮した結果、以下の通りとします。

小学校：12～18学級（各学年2～3学級）

中学校：9～18学級（各学年3～6学級）

10

- ②一定の教員数が確保できることで、免許外指導の課題が解消されます。

>中学校では、全部で10教科（国語・社会・数学・理科・外国語・保健体育・美術・音楽・技術・家庭）の授業を教科担任が行う。

⇒最低10名の教員が必要（ただし、学級数の増加に伴い同じ教科に複数の教員が必要となる）

12

▶兵庫県教育委員会学校規模別の教職員配置基準および免許外指導を解消するために必要な教職員数（中学校）

注：学級数は特別支援学級を含む学級数

学級数	定数	必要数	学級数	定数	必要数
1	2	10	7	12	16
2	5	10	8	14	16
3	8	10	9	15	16
4	8	10	10	17	16
5	9	10	11	18	18
6	10	14	12	19	18

（教科担任の授業時間を1週間20時間で計算）

（教員定数は、特別支援学級を含む学級数で決定されます。）

③部活動において、ある程度の部活数・部員数・顧問数が確保できる。

▶平成30年度の各中学校の部活動の状況は下記の通り。

学校名（学級数）	運動部	文化部	合計	H26との比較（▼減、△増）
長坂（5）	5	1	6	運動部が2▼
藍（6）	7	1	8	運動部が2、文化部が1▼
上野台（5）	6	1	7	運動部が2、文化部が1▼
八景（14）	12	3	15	運動部が1▼
狭間（11）	9	3	12	運動部が1▼
富士（8）	8	2	10	運動部が1、文化部が1▼
けやき台（15）	10	3	13	運動部が1△
ゆりのき台（15）	12	5	17	文化部が1▼

生徒数・学級数の減少に伴い、部活動の減少が進んでいます

特に、6学級を下回るような小規模校では、課題が大きい。

- ◆ 文化部（吹奏楽部）が1つしかなく、選択の余地がない。
- ◆ 1・2年生での活動では、合同部活動をする必要が生じている。

- ・ H30は、長坂・けやき台（野球部）、長坂・藍（サッカー部）の2つの組み合わせで実施。
- ・ 学校が離れているため、移動に時間がかかり、十分練習時間が取れない。学校行事等の関係で、練習日の設定が難しい。

部活動は、生徒にとって魅力ある学校のための重要な活動です

④体育大会・文化祭等の学校行事の活性化が図れる。

- 集団として多種・多様な演技や内容を工夫して行うことができる。
- 他の学年や学級の演技等を参観する機会が確保されることで、自己の取り組みを振り返ったり、他者のよいところを取り入れたりすることができる。

⇒学習意欲が高まり、教育的効果が増大することが期待できる。

⑤ある程度の教員数を確保できることから、学校運営が余裕を持って行える。

- 学年団を編成する時に、経験年数や専門性、男女比等を考慮した教職員の配置が可能となり、それを生かした指導の充実が期待できる。
- 多くの教職員が生徒に関わることから、生徒の良さを多面的に評価できるとともに、生徒が多様な価値観に触れることができる。
- ティーム・ティーチング、グループ別指導等、多様な指導方法が可能となる。

17

## 2 協議の手順

以上のことから、

**まず課題が大きく、早急な対応が必要な中学校から再編計画を提示し、協議を進めます。**

18

## V 学校再編について

### 1 学校再編(第1次計画)の対象校について

**長坂中学校と藍中学校の統合を進めます**

#### 長坂中学校の生徒数の状況

- 平成30年5月現在、5学級(1年生が単学級)125人が在籍し、適正規模には達していない。バス通学はなく、遠距離を通学する生徒は自転車通学である。
- 次年度以降もゆるやかに生徒数は減少し、平成45年度には3学級(全学年が単学級)107人になると予測。

19

#### 藍中学校の生徒数の状況

- 平成30年5月現在6学級159人が在籍し、適正規模には達していない。バス通学はなく、遠距離を通学する生徒は自転車通学である。
- 今後もゆるやかに生徒数が減少し、平成36年度には5学級(1年生が単学級)136人、平成42年度には3学級(全学年が単学級)89人になると予測。

長坂中学校と藍中学校の今後の生徒数・学級数の推計および両校を統合した場合の生徒数・学級数は次のページの通り。



20

### 藍中学校と長坂中学校の統合

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度	42年度	43年度	44年度	45年度
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
長坂中学校	生徒数 125	124	120	127	124	117	120	118	128	127	123	106	107	107	115	107
	学級数 5	5	5	5	5	4	5	4	5	5	5	4	4	4	4	3
藍中学校	生徒数 159	171	169	170	161	147	136	126	119	129	120	120	89	83	78	90
	学級数 6	6	6	6	6	6	5	5	4	5	4	4	3	3	3	3
長坂・藍統合 (長坂中学校)	生徒数 284	295	289	297	285	264	256	244	247	256	243	226	196	190	193	197
	学級数 9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	7	7	6	6	6	6

**【両校を統合した場合】**

- 将来的に適正規模を下回ることが予想されますが、当面の対応として、この2校を統合し、一定規模を確保します。

※上記学級数に特別支援学級は含まず。

(教員定数は、特別支援学級を含む学級数で決定されます。)

### ◇再編の考え方

#### 地理的な状況

- 藍中学校は、藍・長坂中学校区の中央部よりかなり西側に位置している。
- 長坂中学校は、長坂・藍中学校区の比較的中央部に近い場所にあり、国道に面している等、交通の利便性も比較的良い。

長坂中学校 (人数)	部活動名	藍中学校 (人数)
22	陸上競技	
17	野球	12
14	サッカー	14
	バスケット (男)	16
	バスケット (女)	8
12	バレー (女)	13
6	ソフトテニス (男)	31
18	ソフトテニス (女)	21
17	吹奏楽	18

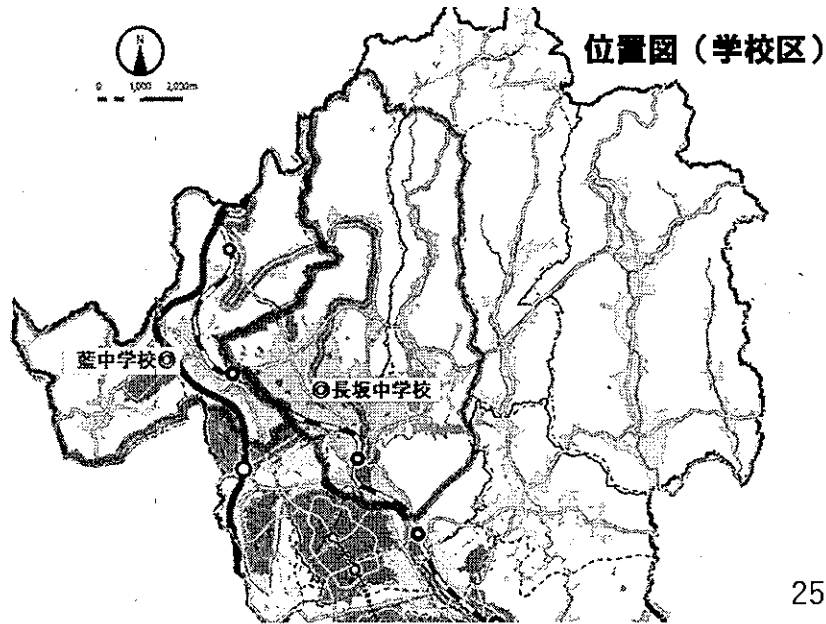
両校の部活動の状況 (平成30年度上半期)  
\*2019年が基準とした時の部員数

\*両校を統合して10学級（特別支援学級含む）270人規模になった場合、現在の富士中学校と同規模となり、10～11程度の部活動が確保できる見込みです。

\*統合しなければ、将来的には4～5学級（特別支援学級含む）100人規模となり、部活動は4～5程度となることが想定されます。

#### 歴史的な状況

- 藍中学校は、つつじが丘地区の人口増に伴う生徒数の急激な増加により、平成3年に長坂中学校より分離して開校した。
- 藍中学校開校の経緯から、長坂中学校区と藍中学校区の関係は深いと考えられる。



25

## 再 編 案

- 今後の生徒数の推移及び相野駅、広野駅周辺のまちづくりが計画、検討されていること等を考慮し、「藍中学校と長坂中学校の統合」を進めることとします。
- 両校の地理的・歴史的な状況に加え、平成38年度以降、長坂中学校の生徒が多くなると予測されることから、「現在の長坂中学校」を統合場所として検討を進めます。

26

## VI 今後のスケジュール

時 期	内 容
H31年2月～	①学校再編計画【第1次計画】について、対象となる中学校区で説明会（4カ所）を開催
H31年2月～ 3月頃	②説明会終了後、「三田市立学校再編地域協議会」の委員選出を各団体に依頼



27

時 期	内 容
H31年 2月～5月	③各地域代表の選出について、各地域で協議（5月中旬ごろまでに決定⇒教育委員会に報告） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             &gt; 地域協議会の委員構成             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小学校の保護者代表・・・各小学校区から2名以内</li> <li>• 中学校の保護者代表・・・各中学校区から2名以内</li> <li>• 区・自治会等地域代表・・・各小学校区から2名以内</li> <li>• 再編対象校の学校長・・・各対象中学校長</li> <li>• 市職員・・・若干名</li> </ul> </div>



28

時期	内容
H31年 5月以降～	<p>④第1回の地域協議会の開催を調整</p> <p>⑤対象となる中学校区に 「地域協議会」を設置</p> <p style="text-align: center;"><b>長坂中学校・藍中学校地域協議会</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>地域協議会で再編について協議</b></p>

29

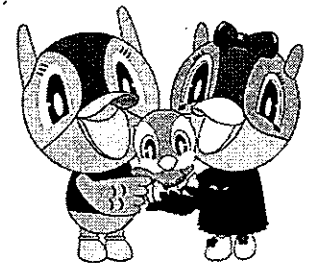
時期	内容
	<p>➤「地域協議会」の期間は原則2年を限度とし、その間に下記の項目について協議し、意見を取りまとめます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆学校再編の是非や時期</p> <p>◆通学手段等に関する事項</p> <p>◆その他、再編に関する事項</p> </div> <p>➤地域協議会で、広く保護者、地域の皆さまの意見が集約できるよう努めます。</p>

30

時期	内容
H32年度 以降～	<p>⑥地域協議会終了後、学校再編に向けて「三田市立学校再編準備会」を設置</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>➤再編準備会の設置期間は、再編年度の前年までとし、その間に下記項目について協議、意見の取りまとめを予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再編の具体的なスケジュール</li> <li>・教育環境整備（校舎改修等）、通学安全対策</li> <li>・校名、校歌、校章、閉校式、開校式</li> <li>・交流事業、記念行事、児童や保護者への周知など</li> </ul> </div>

31

三田の教育基本理念「子どもの夢と未来が輝くまちさんだ」の実現のために、これからも努力してまいります。



三田市教育委員会

32